



▲森には小径があり、だれでも散策を楽しむことができます。

森から私たちが教わった
り、森で楽しんだりするこ
とはたくさんあります。た
とえば下草刈り、間伐、広
葉樹の植樹といった森林愛
護活動。間伐材や木枝など
を使った工芸・アート教室、
森のランドアートといった
美術工芸活動のほか、季節
ごとの観察会といった自然
愛護活動など。市民のみな
さんが参加して楽しめるよ
うないろいろな企画や運営
を考えています。

仮称

文化の森

準備だより③

だれでも散策できる森

ふかふか、ふかふか。

コナラやアベマキの落葉が積もった森の中を歩くと、忘れかけていたあたたかい土の感覚を思い出し、思わず足取りが軽くなります。

今、文化の森建設予定地は晩冬の装いです。どこにもある雑木林かもしれませんが、コナラ、アベマキ、コシアブラ、アラカシ、ソヨゴ、リョウブなどの雑木がヒノキ林とともにいっぱい広がっています。

文化の森の「森」は、人工的に作られた公園の植栽ではありません。かといって、手をつけない保全林でもありません。かつて、燃料の薪(まき)を取るために手入れされていた雑木林のように、そして自分の家の庭の延長のように、市民のみなさんが實際足を踏み入れて楽しめるような里山としての「森」にしたいと考えています。